PRESS RELEASE　2019 年 9 月 30 日(月)

報道機関各位

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局広報：小倉・神永・岡崎
TEL： 03-5961-5202　press@festival-tokyo.jp

フェスティバル/トーキョー19 オープニング・プログラム
『移動祝祭商店街』いよいよ 10 月 5 日（土）・6 日（日）開催！

豊島区の商店街を舞台にした新しい祭りに 16 名のダンサー/俳優が出演
振付・出演に北尾 亘、音楽に とくさしけんご 、衣裳に田畑大地が参加

国際舞台芸術祭フェスティバル/トーキョー19（以下 F/T19）は、オープニング・プログラムとして開催する無料の野外公演『移動祝祭商店街』の出演アーティストなどプログラムの詳細を発表いたしました。

豊島区の 3 つの商店街エリアをオリジナルの山車が出発し、練り歩きを実施する「第 1 部 みちゆき」と、すべての山車が集結しダンス・パフォーマンスを行う「第 2 部 まちまち」には、総勢 16 名のダンサー/俳優が出演。商店街の特長を織り込んだ祝祭的パフォーマンスを披露いたします。

日本のコミュニティの核である商店街を舞台にした本作では、民衆芸能の歴史の中で重要なお祭りや練り歩きに注目し、地域のリサーチに基づいた「新しい祭り」のカタチを東京・豊島区から発信いたします。『移動祝祭商店街』の骨組みを作ったセノ派は、杉山至・坂本遼・佐々木文美・中村友美 4 名による舞台美術家集団で、本作のために結成されました。通常の演劇・ダンス公演では、舞台だけをデザインする役割の彼らが先導役となり、演出家とは異なる視点で、創作をリードしていきます。クライマックスでは、セノ派によるオリジナルの山車と幅広いジャンルで精力的に活躍する Baobab 北尾 亘氏の振付、サウナのための環境音楽が話題のとくさしけんご氏の音楽、異色のキャリアで今後の活躍が期待される田畑大地氏の衣裳によるダンス・パフォーマンスが、まちなかの光景を祝祭空間へ変容させます。

F/T19 のオープニングを飾る『移動祝祭商店街』は、都市型フェスティバルの可能性とモデルを更新し、身近なコミュニティこそが、都市のかけがえのない礎であることをアートの力を通じて発信していきます。

当プログラムを皮切りに開催する F/T19 は 10 月 5 日（土）～11 月 10 日（日）の 37 日間 「からだの速度で」をテーマに、ジャンルや国を横断した 12 組のアーティストが 8 か国の拠点から集結し、15 以上の多彩なプログラムを展開します。

【『移動祝祭商店街』出演者一覧】
飯森沙百合、伊藤まこと、植田崇幸、河村美帆香（快快）、北尾 亘(Baobab)、木原浩太、桑原史香、後藤かおり、小麦粉くり子、玉田伸太郎、手代木花野、沼田駿也、HEIDI(バスタブ NY)、目澤芙裕子(Baobab)、八木光太郎、山崎皓司（快快）

【『移動祝祭商店街』公演概要】
日時：10/5 (Sat) -10/6 (Sun)　第一部 11 時～、第二部 15 時～　・　パフォーマンスデザイン：セノ派（舞台美術家コレクティブ）
会場：豊島区内商店街（南長崎ニコニコ商店街、目白通り二又商店会、池袋本町通り商店会、サンモール大塚商店街振興組合、大塚南口盛和会）、トランパル大塚

■アーティストプロフィール

セノ派　Sceno-ha

舞台美術家として活躍する杉山至、坂本遼、佐々木文美、中村友美により、F/T19 のオープニング企画を機に結成されたコレクティブで、戯曲や俳優、演出を前提にするのではない、舞台美術を起点とした場面、情景の創造にかかわるプロジェクトに取り組む。「セノ」とは、場面や情景、舞台美術を表す「セノグラフィー」に由来する。

Photo: Ryosuke Kikuchi

北尾 亘　Wataru Kitao

Baobab 主宰・振付家・ダンサー・俳優

1987 年兵庫県生まれ。幼少より舞台芸術に携わる。2009 年ダンスカンパニーBaobab を旗揚げし、単独公演ほか4カ国 20 都市に及ぶ国内外のフェスティバルに参加。

演劇・TVCM・ドラマ・映画など振付多数。ダンサー・俳優として近藤良平、杉原邦生、山本卓卓などの作品に出演。俳優4人の演劇ユニット[さんぴん]メンバーとしても活動。横浜ダンスコレクション 2018 ベストダンサー賞ほか受賞多数。尚美学園大学、桜美林大学非常勤講師。急な坂スタジオサポートアーティスト。

photo by bozzo

とくさしけんご　Kengo Tokusashi

作曲家。アルバム『華麗なるホリデーの世界』『MUSIC FOR SAUNA』『MUSIC FOR SAUNA QUIET NIGHT』、ドラマ「サ道」の音楽の他、TV、CM、ゲーム、映像作品、展示などのための音楽多数。第 20 回日本現代音楽協会作曲新人賞、第 10 回東京国際室内楽作曲コンクール第一位受賞。

URL：https://tokusashi-kengo.tumblr.com

田畑大地　Daichi Tabata

1989 年生まれ、沖縄県出身。

陸上自衛隊、映像制作の経験を経て

2017 年より writtenafterwards デザイナー山縣氏に師事する。

■スタッフ・プロフィール

・舘そらみ（第一部　みちゆき　南長崎エリア　構成・リサーチ）

神奈川県生まれ、トルコ・コスタリカ育ちの脚本家・舞台演出家。
慶應義塾大学在学中より演劇活動を始め、2009 年に劇団ガレキの太鼓を旗揚げ。同時に青年団演出部に入る。
2015 年からは活動場所を映像に移し、映画やドラマの脚本を主に執筆。映画「私たちのハァハァ(監督:松居大悟)はゆうばり国際ファンタスティック映画祭にてゆうばりファンタランド賞を受賞。ドラマ「コーヒー&バニラ」は TVer1 位を達成。現在は定住をやめ、移動しながら生活している。

・後藤かおり （第一部　みちゆき　南長崎エリア　振付・出演、第二部　まちまち　トランパル大塚　出演）

1986 年青森県生まれ。ダンサー。伊藤キム代表/GERO 所属。
これまでに Tero Saarinen「MESH」池田扶美代「Powerlessness」石山雄三_A.P.I「SHGZR-0dB」Pichet Klunchun「MI(X)G」等のダンス作品、安斉研究所「ウマジン」石川卓磨「接触の運用」等のアート作品に出演する他、伊藤キムの演出助手としても多くの舞台やプロジェクトに携わる。また近年はフリーランスの制作として、様々な劇団・ダンスカンパニーと協働。多岐に渡る活動を展開する。
Photo: Manaho Kaneko

・星 茉里 （第一部　みちゆき　池袋本町エリア　リサーチャー）

『はらぺこ満月』主宰。物と人との間のこと、当たり前になり見えなくなってしまったことなどを、思い出したり見つめなおしたりつなぎなおしたりすることを試みる。純喫茶、木造物件、里山など、劇場以外での場や土地から物語を紡ぎ現実と虚構が交差する作品を上演。その他、大橋可也&ダンサーズ『ザ・ワールド 2019』にリサーチャーとして参加するなど、土地のリサーチをベースとした作品やまちを舞台とした作品にも複数参加。

・安藤僚子（第一部　みちゆき　大塚エリア　物体デザイン）

空間デザイナー/合同会社デザインムジカ代表。2018 年からリソグラフ&オープン D.I.Y.スタジオ「Hand Saw Press」運営。空間設計を中心に、店舗設計、演劇や科学展示などの会場構成、ディスプレイやアートインスタレーションなど空間にまつわる幅広いジャンルで活動している。主な作品に「スポーツタイムマシン」（メディアインスタレーション／第 17 回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門優秀賞、アルスエレクトロニカインタラクティブアート部門入賞）など。

・萩原慶 / ハギーK（第一部　みちゆき　大塚エリア　ビジュアル）

1977 年東京生まれ。東京造形大学卒業後、
作風を持たないイラストレーターとして様々なかたちで活動中。
近年では宣伝美術や舞台美術など演劇に関わる機会もしばしば。
『NNNNY のデザイン家電の予習と復習』展（2009）
『NNNNY のエレクトリカル大 0 界(ダイレーカイ)』展（2015）
『SOBO 19th Exhibition 萩原慶 / ハギーK Ⅰ, Ⅱ』展（2016）

■第 1 部　みちゆき概要

【南長崎エリア】

パフォーマンスデザイン：坂本　遼

練り歩き開始時間：11:00

練り歩き終了時間：11:30（予定）

構成・リサーチ：舘そらみ

構成：後藤かおり

出演・共同振付：

飯森沙百合、木原浩太、

手代木花野、八木光太郎、後藤かおり

移動アテンド：福島奈央花

集合場所：南長崎花咲公園　〒171-0052 東京都豊島区南長崎3-9-22
最寄り駅：都営地下鉄大江戸線落合南長崎駅A2出口　徒歩7分/
西武池袋線東長崎駅南口　徒歩15分

■坂本遼メッセージ

この商店街には、たくさんの「物」が眠っています。そんな「物の記憶」や、「物が見ているかもしれない夢」を辿りながら、練り歩きます。あったかもしれない時間と、なかったかもしれない時間。今、あるかもしれない時間。過去と今が、夢の中で交差するかのように。

【池袋本町エリア】

パフォーマンスデザイン：中村友美

練り歩き開始時間：12:30

練り歩き終了時間：13:00（予定）

パフォーマンスデザイン：中村友美（セノ派）

リサーチャー：星　茉里（はらぺこ満月）

振付：北尾　亘（Baobab）

出演：伊藤まこと、植田崇幸、北尾　亘(Baobab)、

小麦粉くり子、沼田駿也、 HEIDI(バスタブ NY)、

目澤芙裕子(Baobab)

移動アテンド：星　茉里、山本　直

集合場所：池袋本町電車の見える公園
〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-41
最寄り駅：東武東上線下板橋駅北口　徒歩5分

■中村友美メッセージ

池袋本町に関して驚いたのは最近縄文土器や貝塚が発見されたりなどこの場所には古くからの営みがあることです。池袋本町のリサーチの営みの中で、見えてきた「配送」や「物流」、「出前」を通した目に見えない街の関係性だったり、つなぎについて考えたいと思います。つなぎが連なり、道、街になる。そんな商店街の成分たちをあえて貨物化し、コンテナに詰めこみ配送してしまおうかと。

【大塚エリア】

パフォーマンスデザイン：佐々木文美

練り歩き開始時間：14:00

練り歩き終了時間：14:30（予定）

物体デザイン：安藤僚子

ビジュアル：萩原　慶

移動アテンド：河村美帆香（快快）、桑原史香、

玉田伸太郎、山崎皓司（快快）

■第 2 部　まちまち　概要

【トランパル大塚】パフォーマンスデザイン：杉山至

パフォーマンス開始時間：15:00

パフォーマンス終了時間：16:40（予定）

振付：北尾　亘（Baobab）

出演：

飯森沙百合、伊藤まこと、植田崇幸、河村美帆香

（快快）、北尾　亘(Baobab)、木原浩太、桑原史香、

後藤かおり、小麦粉くり子、玉田伸太郎、手代木花野、

沼田駿也、HEIDI(バスタブ NY)、目澤芙裕子(Baobab)、

八木光太郎、　山崎皓司（快快）

音楽:とくさしけんご

衣裳:田畑大地

◎トランパル大塚付近では屋台の出店も予定されています。

■大塚エリア

集合場所：マスジド大塚前　〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-42-7
最寄り駅：JR大塚駅南口　徒歩5分/
東京さくらトラム（都電荒川線）大塚駅前　徒歩7分

■トランパル大塚

集合場所：トランパル大塚　〒170-0005東京都豊島区南大塚3-53−8
最寄り駅：JR大塚駅南口　徒歩1分
東京さくらトラム（都電荒川線）大塚駅前　徒歩1分

■佐々木文美メッセージ

大塚は様々な国や宗教の人達が共存して活気ある街です。この街で見つけたものは、垣根を保ちつつの関係性。その垣根に色々な気持ちを抱き、その中には希望もありました。今回は商店街の垣根、ゲート（門）を作ります。生まれたばかりのゲートが、今あるゲートを超えたときに、領域がひっくり返って延長されるイメージをみんなで想像する練習。それがお互いの垣根の YOGA 的効果になることを期待します。

■杉山至メッセージ

高度経済成長期、乱開発されていく東京近郊に育った私には商店街の憶い出がない。地域のお祭りの記憶もない。お盆の時期になるとソワソワしだす母に連れられ観に行った母の生まれ故郷、静岡・三島大社のお祭りが唯一の商店街とお祭りの原風景だ。

何キロにも渡り境内までの商店街は屋台と人で埋め尽くされ、道路は囃子方を乗せた巨大な山車が何台も何台もゆっくりと引かれていく。人々と共に街の体温は上がり、祭りの熱気が街道を流れていく。永遠の時間、遠い夢のような風景。

だからだろうか、古い街並みや下町、街道筋だった商店街や祭りに憧れと羨望がある。

伝統的なお祭りとはちょっと違うかもしれないが、パフォーミングアートとセノグラフィー　の視点で商店街や街と関わる祝祭はできないだろうか？

そんな発想の元、関わってくださった皆さんと話し合いアイデアを持ち寄り創作してきました。

普段の街の体温がちょっとだけ上がる一瞬の夢のような時間を共有出来たらと思います。

【主催プログラムラインアップ】

■『移動祝祭商店街』 パフォーマンスデザイン：セノ派（舞台美術家コレクティブ）–アートプロジェクト／パフォーマンス

■『オールウェイズ・カミングホーム』演出：マグダ・シュペフト – 演 劇

■『ファーム』 演出：キム・ジョン 作：松井 周 – 演 劇

■香料 SPICE『 新 林 ニュー・ジャングル コンセプト・演出・出演：香料 SPICE– 映 像／音 楽／パフォーマンス

トランスフィールド from アジア

■『Sand（a）isles』（サンドアイル） 演出・設計：JK・アニコチェ×山川 陸 – アートプロジェクト

■ファンラオ・ダンスカンパニー『Bamboo Talk』（バンブートーク）『PhuYing』（プニン）
振付：ウンラ・パーウドム、ヌーナファ・ソイダラ – ダンス

■『To 通 ツー』（ツーツーツー）企画・出演：オクイ・ララ×滝 朝子 – レクチャー・パフォーマンス

■『やわらかなあそび』演出・出演：谷口暁彦 – 映 像／音 楽／パフォーマンス

■「トランスフィールド from アジア」 – トーク

■『NOWHERE OASIS』（ノーウェアオアシス） コンセプト・ディレクション：北澤 潤–アートプロジェクト

■Hand Saw Press『 ひらけ！ガリ版印刷発信基地』ディレクション：Hand Saw Press–アートプロジェクト

■『Strange Green Powder ストレンジ・グリーン・パウダー』 神村 恵 振付・演出：– ダンス

■ドキュントメント『Changes』シーズン 2 ディレクション：ドキュントメント – 映 画

■ 研究開発プログラム ■ 教育普及プログラム

【フェスティバル/トーキョー開催概要】

FESTIVAL / TOKYO

名 称： フェスティバル/トーキョー19 Festival/Tokyo 2019

会 期： 令和元年（2019 年）10 月 5 日（土）～11 月 10 日（日）37 日間

会 場： 東京芸術劇場、あうるすぽっと、シアターグリーン ほか

※内容は変更になる可能性がございます。

フェスティバル/トーキョー（F/T）は、同時代の舞台芸術の魅力を多角的に発信し、社会における芸術の新たな可能性を追究する都市型フェスティバルです。2009 年の開始以来、国内外の先鋭的なアーティストが毎年秋に集結し、演劇、ダンス、音楽、美術、映像等のプログラムを、東京・池袋エリアを拠点に、上演・実施しています。

主催：フェスティバル/トーキョー実行委員会

豊島区／公益財団法人としま未来文化財団／NPO 法人アートネットワーク・ジャパン、

東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）〕

「トランスフィールド from アジア」共催：国際交流基金アジアセンター

令和元年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業（豊島区国際アート・カルチャー都市推進事業）

フェスティバル/トーキョー19 は東京芸術祭 2019 の一環として開催いたします。

フェスティバル/トーキョー19 は東アジア文化都市 2019 豊島と連携して開催いたします。

フェスティバル/トーキョー19 は日本・ポーランド国交樹立 100 周年記念事業へ参加しています。

【本件のお問い合わせ】フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 広報担当 ： 小倉・神永・岡崎
TEL： 03-5961-5202 FAX:03-5961-5207 e-mail:press@festival-tokyo.jp
〒170-0031 東京都豊島区目白 5-24-12 旧真和中学校 4 階 https://www.festival-tokyo.jp